



インクルーシブ教育実践論

学級、授業、学校づくりの実際

(株) LITALICO との連携授業を行いました！

開催日時：2025年5月23日(金) 13時10分～14時40分

実施方法：対面講義

講師：北岡 樹 氏 (株式会社 LITALICO)

担当：岡村章司、小川修史

第7回目にあたる授業では、全国で先進的な取組を行っている自治体や学校を北岡氏より紹介いただきました。学校単位として、埼玉県戸田市、学級単位として、大阪府箕面市、授業単位として石川県加賀市の取組みが挙げられました。まず取組みの紹介をいただき、学生からの質疑応答により内容の理解を深めていく流れで、学校、学級、授業の順番で行いました。

学校単位の取組みとしては、通常の学級にも支援が必要な子どもがいることに気付く力を高めることを目的に、先生方の LITALICO 教材やツールを活用した実践を共有していました。データをもとに1層支援を従事していた取組みから、学生から多層支援モデルの有効性や教師の負担の観点など多くの意見が寄せられました。

学級単位の取組みとしては、学級全体での基礎的環境整備や合理的配慮の検討・実施のために、児童一人ひとりからクラス全体のアセスメント情報をもとに学級全体での支援を検討し実施していま

した。学生からは、クラス全体のアセスメントの重要性の指摘があり、保護者との連携やデータの扱い方に関する質問があり、活発な協議がなされました。

授業単位の取組みとしては、一人ひとりの理解度やつまずきに合わせた教材を用意し、子どもたち自身が自分のペースで主体的に学べる授業づくりが紹介されました。学生からは、できないことが明らかになることで子どもに生じる劣等感への危惧や教師の役割などに関する質問が寄せられ、学校単位でなく市全体で取り組む意義について確認されました。

事後アンケートでは「子ども一人ひとりの良さを見つけて、それを伸ばす教育」が重要だという意見や「教育への考え方が前向きに変わった」といった肯定的なコメントが多くありました。また、第6回目まで学生らは自分たちなりのあるべき学校の姿を追求してきたため、「自分の班で話し合ったようなことが実践されていてとても興味深く、そして嬉しかった」といったこれまでの学びと関連付けたコメントもみられました。